

三菱シーケンサ テクニカルニュース

No. PLC-D-505 1/10

2005年 1月

表 題	Windows XP Service Pack2 “セキュリティ強化機能搭載” への対応について
適用機種	三菱統合FAソフトウェアMELSOFTシリーズ GXシリーズ MXシリーズ PXシリーズ

三菱統合FAソフトウェアMELSOFTシリーズに格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

MELSOFTシリーズはWindows XP に対応していますが、Windows XP Service Pack2の”セキュリティ強化機能搭載”により一部のMELSOFT製品が正常に動作しない可能性があるため、その現象と対処方法をお知らせします。

対象機種：GX RemoteService-I, PX Developer, MX Component

上記以外の機種につきましては、正常に動作することを確認しております。

1. GX RemoteService-I使用時の対処方法

(1) 現象

サーバ (GX RemoteService-Iをインストールしたパソコン) のWindowsファイアウォール機能が、サーバへのネットワーク経由でのアクセスを阻止するように設定されている場合、クライアント (Webブラウザ/携帯電話/GX Explorer) はサーバへインターネット経由で接続することができません。

(2) 対処方法

上記現象が発生した場合、GX RemoteService-Iがインストールされているパソコンに対して、以下に示す対処1～対処3のいずれか1つを行ってください。

ただし、対処1～対処3のいずれかを実施することによりWindowsのセキュリティ機能が弱まります。

パソコンをウイルスや侵入者にさらす危険性が増す可能性がありますので、ネットワーク管理者にご相談の上、対応してください。

[対処1]

Windowsファイアウォール設定^{*1}で、例外リストに下記2つの例外プログラムを追加してください。
 なお、既にこの例外プログラムが追加されている場合は、チェックボックスにチェックを入れて有効にしてください。

例外プログラム：「C:¥WINDOWS¥system32¥inetsrv¥inetinfo.exe」
 「C:¥EZSocketIJE¥bin¥EZSocketIJE.exe」^{*2}

(例外プログラムの追加前)



“プログラムの追加”ボタンにより、
例外プログラムを追加する。

(例外プログラムの追加後)



追加された例外プログラム

*1：Windowsファイアウォール設定画面は、[スタート]→[コントロール パネル]→[セキュリティ センター]→[Windows ファイアウォール]より表示できます。

また、Windowsファイアウォール設定を変更するには、コンピュータのすべてを制御する権限が与えられているAdministratorsグループのユーザでログオンする必要があります。

*2：EZSocketIJE.exeは、GX RemoteService-Iのインストール時にインストール先のドライブを変更した場合、変更した先のドライブにあります。

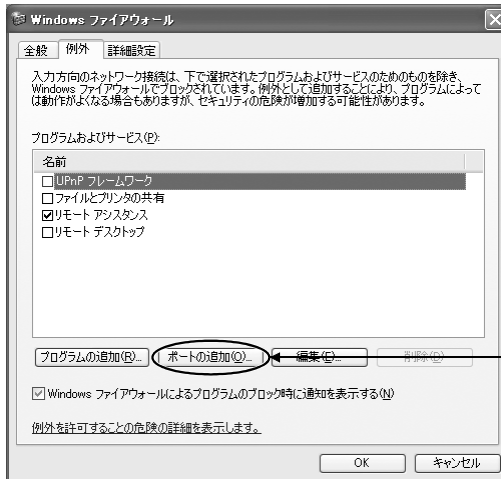
[対処2]

Windowsファイアウォール設定*3で、例外リストに下記2つの例外ポートを追加してください。

例外ポート：「MELSOFT接続用HTTPポート番号：8080」*4

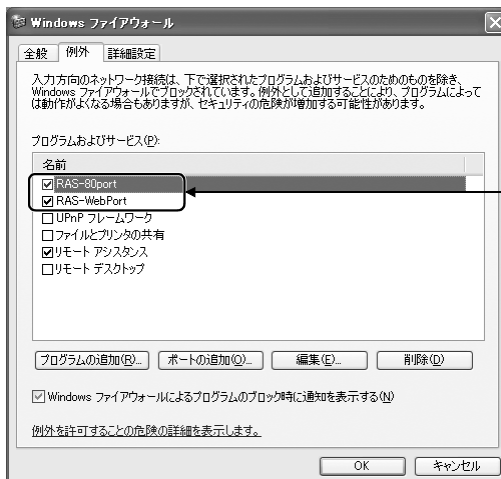
「Web機能用HTTPポート番号：80」*4

(例外ポートの追加前)



“ポートの追加”ボタンにより、例外ポートを追加する。

(例外ポートの追加後)



追加された例外ポート

*3：Windowsファイアウォール設定画面は、[スタート]→[コントロール パネル]→[セキュリティ センター]→[Windows ファイアウォール]より表示できます。

また、Windowsファイアウォール設定を変更するには、コンピュータのすべてを制御する権限が与えられているAdministratorsグループのユーザでログオンする必要があります。

*4：実際に使用しているポート番号を追加してください。

実際に使用しているポートは、下図に示すGX RemoteService-Iのネットワーク設定で確認することができます。



[対処3]

Windows ファイアウォール設定*5で、Windows ファイアウォールを無効にしてください。



Windowsファイアウォールを無効にする。

- *5 : Windowsファイアウォール設定画面は、[スタート]→[コントロール パネル]→[セキュリティ センター]→[Windows ファイアウォール]より表示できます。
また、Windowsファイアウォール設定を変更するには、コンピュータのすべてを制御する権限が与えられているAdministratorsグループのユーザでログオンする必要があります。

2. PX Developer モニタツール使用時の対処方法

(1) 現象

PX DeveloperをインストールしたパソコンのWindowsファイアウォール機能が、モニタツールへのネットワーク経由でのアクセスを阻止するように設定されている場合、モニタツールはEthernetで接続されたシーケンサCPUからのイベント通知を受信することができません。

(2) 対処方法

上記現象が発生した場合、PX Developerがインストールされているパソコンに対して、以下に示す対処1～対処3のいずれか1つを行ってください。

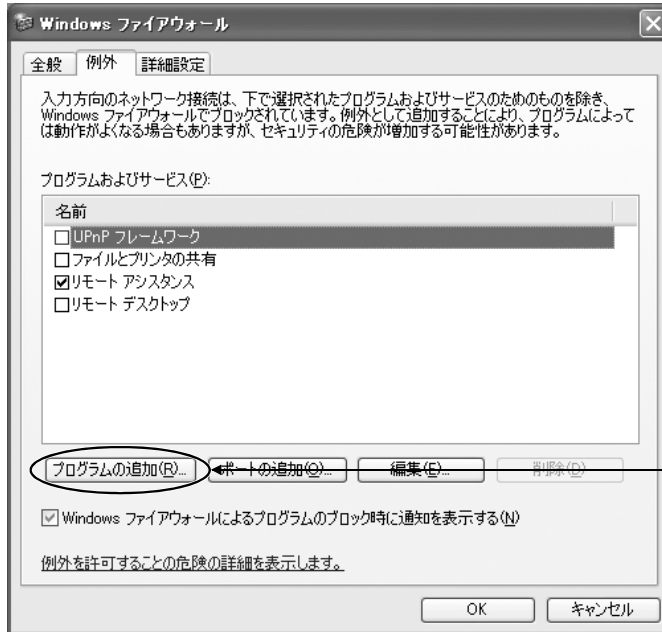
ただし、対処1～対処3のいずれかを実施することによりWindowsのセキュリティ機能が弱まります。パソコンをウイルスや侵入者にさらす危険性が増す可能性がありますので、ネットワーク管理者にご相談の上、対応してください。

[対処1]

Windowsファイアウォール設定*6で、例外リストに下記の例外プログラムを追加してください。なお、既にこの例外プログラムが追加されている場合は、チェックボックスにチェックを入れて有効にしてください。

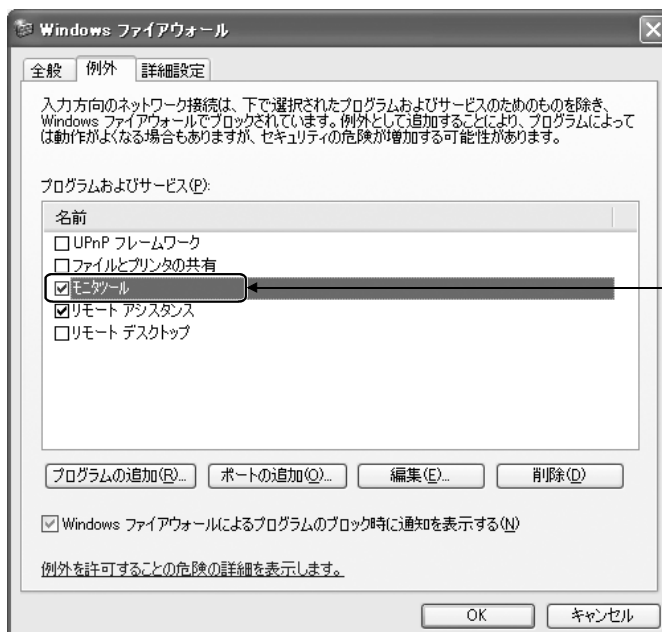
例外プログラム：「C:\¥MELSEC¥FBDQ¥FBDQMon.exe」*7

(例外プログラムの追加前)



“プログラムの追加”ボタンにより、例外プログラムを追加する。

(例外プログラムの追加後)



追加された例外プログラム

*6：Windowsファイアウォール設定画面は、[スタート]→[コントロール パネル]→[セキュリティ センター]→[Windows ファイアウォール]より表示できます。

また、Windowsファイアウォール設定を変更するには、コンピュータのすべてを制御する権限が与えられているAdministratorsグループのユーザでログオンする必要があります。

*7：FBDQMon.exeは、PX Developerのインストール時にインストール先のパスを変更した場合、変更した先のパスにあります。

[対処2]

Windowsファイアウォール設定*⁸で、例外リストに下記の例外ポートをUDPとして追加してください。
 例外ポート：「イベント通知UDPポート番号：4096」*⁹

(例外ポートの追加前)



“ポートの追加”ボタンにより、
例外ポートを追加する。

(例外ポートの追加後)



追加された例外ポート

- *8：Windowsファイアウォール設定画面は，[スタート]→[コントロール パネル]→[セキュリティ センター]→[Windows ファイアウォール]より表示できます。
 また，Windowsファイアウォール設定を変更するには，コンピュータのすべてを制御する権限が与えられているAdministratorsグループのユーザでログオンする必要があります。
- *9：実際に使用しているUDPポート番号を追加してください。
 実際に使用しているUDPポートは，下図に示すPX Developerモニタツールのオプション設定で確認することができます。なおUDPポート番号は16進数で表示されています。

適用		取消し	
項目		内容	
☐ 警報・イベント			
☐ 全般			
モニタールイベント通知	警報/イベント表示2行目	警報	
警報発生時反転表示		なし	
イベント通知UDPポート番号		H1000	
警報自動CSVファイル出力		しない	
警報CSVファイル自動削除		しない	

[対処3]

Windows ファイアウォール設定*10で、Windows ファイアウォールを無効にしてください。



Windowsファイアウォールを無効にする。

*10 : Windowsファイアウォール設定画面は、[スタート]→[コントロール パネル]→[セキュリティセンター]→[Windows ファイアウォール]より表示できます。
また、Windowsファイアウォール設定を変更するには、コンピュータのすべてを制御する権限が与えられているAdministratorsグループのユーザでログオンする必要があります。

3. MX Component使用時の対処方法

(1) 現象

Internet Explorerのセキュリティ機能が、アクティブコンテンツの実行を許可しないように設定されている場合、MX Componentを使用したスクリプトプログラム*11が動作しません。(スクリプトプログラムを実行すると情報バーが表示されます。)

*11：弊社提供のVBScriptのサンプルプログラムを含みます。

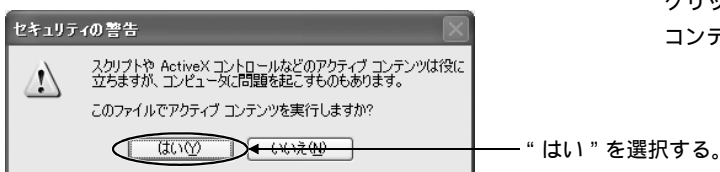
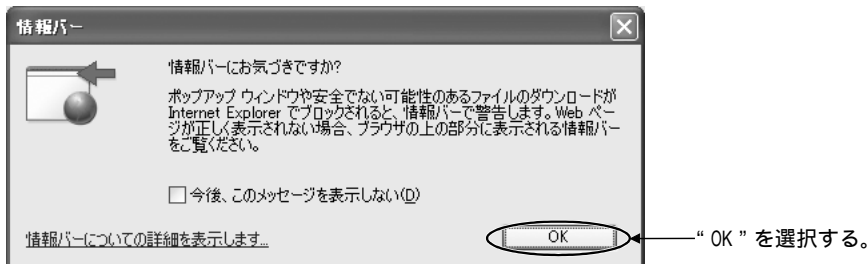
(2) 対処方法

上記現象が発生した場合、MX Componentがインストールされているパソコンに対して、以下に示す対処1～対処2のいずれか1つを行ってください。

ただし、対処1～対処2のいずれかを実施することによりWindowsのセキュリティ機能が弱まります。パソコンをウイルスや侵入者にさらす危険性が増す可能性がありますので、ネットワーク管理者にご相談の上、対応してください。

[対処1]

表示された情報バーのメッセージを閉じ、Internet Explorerアドレスバーの下部に表示される情報バーのクリックメニューから“ブロックされているコンテンツを許可”を選択してください。次に、表示されるメッセージを確認し、“はい”を選択してアクティブコンテンツを実行してください。“いいえ”を選択した場合、VBScriptでの機能を使用することができません。



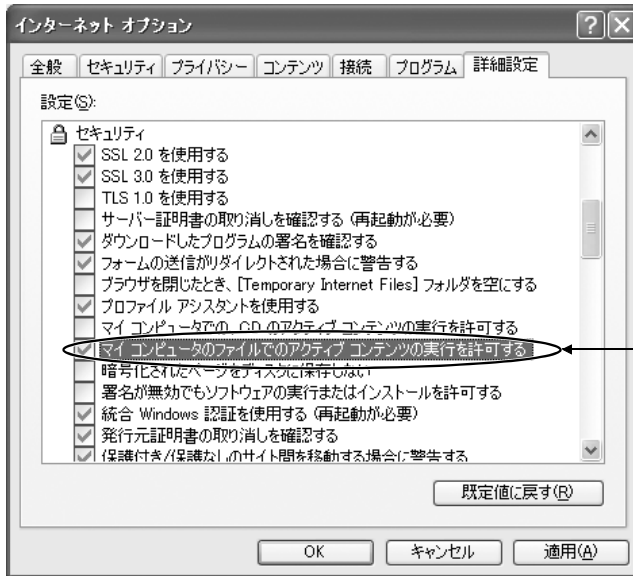
クリックメニューより“ブロックされているコンテンツを許可”を選択する。

“はい”を選択する。

[対処2]

Internet Explorerのインターネットオプション設定*12で、「アクティブコンテンツの実行を許可する」設定に変更してください。

「アクティブコンテンツの実行を許可する」に設定した場合、この設定がすべてのファイルに適用されますので注意してください。



“マイコンピュータのファイルでのアクティブコンテンツの実行を許可する”にチェックを入れる。

*12：インターネットオプション設定画面は、Internet Explorerの[ツール]→[インターネットオプション]より表示できます。

Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。その他記載されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。また、本資料の本文中では、®、TMを省略して表記しています。

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-2-3(三菱電機ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業部	〒104-6215 東京都中央区晴海1-8-12 (オフィスタワーZ棟15階)	(03) 6221-2190
北海道支社	〒060-8693 札幌市中央区北二条西4-1 (北海道ビル)	(011) 212-3792
東北支社	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-17-7 (仙台上杉ビル)	(022) 216-4546
福島支店	〒963-8002 郡山市駅前2-11-1 (ビッグアイ17階)	(024) 923-5624
関東支社	〒330-6034 さいたま市中央区新都心11番地(明後生命ビル) さいたま新都心ビルランドアクセスタワー3F	(048) 600-5835
新潟支店	〒950-8504 新潟市東大通2-4-10 (日本生命ビル)	(025) 241-7227
神奈川支社	〒220-8118 横浜市西区みなとみらい2-2-1 (横浜ランドマークタワー)	(045) 224-2624
北陸支社	〒920-0031 金沢市広岡3-1-1 (金沢パークビル)	(076) 233-5502
中部支社	〒450-8522 名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古屋ビル)	(052) 565-3314
静岡支店	〒422-8067 静岡市南町14-25 (エスパティオ6階)	(054) 202-5633
豊田支店	〒471-0034 豊田市小坂本町1-5-10 (矢作豊田ビル)	(0565) 34-4112
関西支社	〒530-8206 大阪市北区堂島2-2-2 (近鉄堂島ビル)	(06) 6347-2771
中国支社	〒730-0037 広島市中区中町7-32 (日本生命ビル)	(082) 248-5445
四国支社	〒760-8654 高松市寿町1-1-8 (日本生命高松駅前ビル)	(087) 825-0055
九州支社	〒810-8686 福岡市中央区天神2-12-1 (天神ビル)	(092) 721-2247

インターネットによる三菱電機FA機器技術情報サービス

MELFANSwebホームページ：http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb
 MELFANSwebのFAランドでは、体験版ソフトウェアやソフトウェアアップデートのダウンロードサービス、MELSECシリーズのオンラインマニュアル、QAサービス等がご利用いただけます。FAランドID登録(無料)が必要です。

三菱電機FA機器TEL、FAX技術相談

※1：土・日・祝祭日、春期・夏期・年末年始を除く通常業務日

※2：春期・夏期・年末年始を除く

●電話技術相談窓口			
対象機種	機種	電話番号	受付時間*1
MELSEC-Q/QnA/A	シーケンサ一般(ネットワーク/インテリジェント機能ユニット以外)	052-711-5111	月曜～木曜 9:00～19:00 金曜 9:00～17:00
	ネットワーク、シリアル	052-712-2578	
	コミュニケーションユニット		
	インテリジェント機能ユニット(ネットワーク以外)	052-712-2579	
MELSOFTシーケンサ	MELSOFT GXシリーズ	052-711-0037	
プログラミングツール	SW□1VD-GPPA/GPPQなど		
MELSOFT通信支援	MELSOFT MXシリーズ	052-712-2370	
ソフトウェアツール	SW□D5F-CSKP/OLEX/XMOPなど		
MELSECパソコンボード	A80BDシリーズなど		
GOT表示器	GOT1000/A900/A800シリーズなど	052-712-2417	
	MELSOFT GTシリーズ		
MELSEC計装/Q二重化	プロセスCPU (Q12/Q25PHCPU)	052-712-2830	
	二重化CPU (Q12/Q25PRHCPU)		
	MELSOFT PXシリーズ		

●FAX技術相談窓口			
対象機種	機種	FAX番号	受付時間*1
上記全対象機種		052-719-6762	9:00～16:00(受信は常時*2)

安全に関するご注意

本テクニカルニュースに記載された製品を正しくお使いいただくため、ご使用前に必ず「マニュアル」をよくお読みください。